

第二国研修事前調査団報告書

—フィリピン、家庭福祉にかかる開発と女性—

平成6年7月

JICA LIBRARY



J 1123961 (3)

国際協力事業団
研修事業部

JICA
118
98.7
TAF
BRARY

研 1
J R
94-024



1123961 (3)

序 文

第二国研修は我が国の技術移転の成果を、当該国の地方部や現場の技術者に普及・定着せしめる研修形態であり、その協力の意義は極めて高いものがある。即ち、第二国研修参加者の数は1コース当り30名から50名程度と多く、かつ地域住民の要望を吸収する立場にある技術者が対象となるため、我が国の技術移転が住民レベルまで直接波及する効果が期待できるためである。

今般、フィリピン政府は、同国の地方での家族計画・母子保健など性的配慮 (Gender Sensitivity) が必要な分野を含む家庭福祉活動を活発化させ、地域住民の生活向上を図るため、我が国に対し第二国研修の実施について要請越した。同分野における我が国からの協力は、1974年から1988年まで“家族計画プロジェクト”として実施され、現在1997年3月末までの計画で第2フェーズとして“家族計画・母子保健プロジェクト”が実施されている。

同プロジェクトの成果を他地域へ普及するとともに、“Gender”に関する知識を付与し、家庭福祉の向上や人口問題の改善に資する本案件は有意義と考えられることから、我が国は本件にかかる第二国研修の実施に向け、フィリピン側と協議するための事前調査団を派遣した。本報告書は、上記調査団がフィリピンにおいて本件にかかる関係各機関との協議結果をとりまとめたものである。また、調査の実施にあたりご協力頂いた在フィリピン日本大使館、外務省、家族計画・母子保健プロジェクト関係者各位及びフィリピン政府・NGO関係機関に対し深甚な謝意を表すものである。

国 際 協 力 事 業 団
研修事業部長 庵 原 宏 義



POPCOM (人口委員会) にて協議

調査団 (左より、田口専門家、樋田団長、
坂口団員、荊木比事務所員、碓調整員)

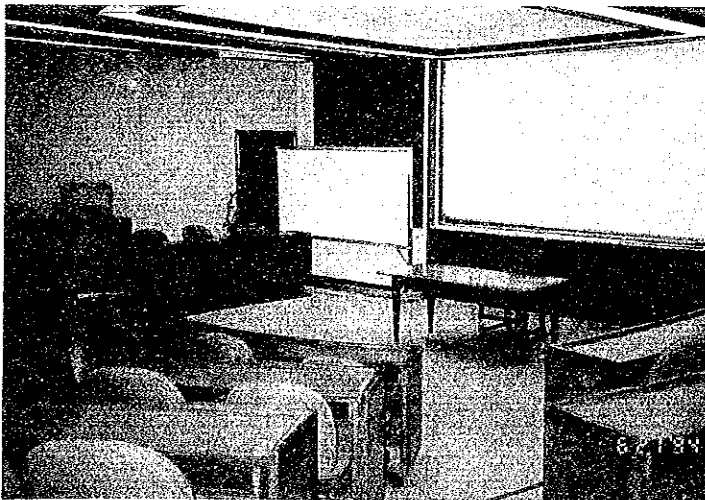


POPCOM (人口委員会) 外観



NGOサイト視察
WHF (Women's Healthcare
Foundation) バタンガイ保健所

ミニッツ署名



サイト視察
(Development Academy of
the Philippines)

目 次

1. 事前調査団の派遣	1
1.1 派遣の目的と経緯	1
1.2 調査団の構成	1
1.3 調査日程	2
1.4 主要面談者	2
1.5 協議の経過	3
2. 要請の背景	5
2.1 フィリピンにおける当該分野の現状	5
2.2 フィリピン国内における研修ニーズ	5
3. 要請の内容	6
3.1 コース名	6
3.2 目的	6
3.3 到達目標	6
3.4 時期・期間	6
3.5 カリキュラム	6
3.6 対象地域	8
3.7 定員	8
3.8 資格要件	8
4. 第二国研修実施体制	9
4.1 実施機関の組織及び事業概要	9
4.2 実施機関の関連組織及びその支援体制	9
4.3 実施機関の研修指導能力	9
4.4 実施機関の運営管理能力	9
4.5 実施機関の施設、建物、機材等	12
4.6 第二国研修の実行予算	12

5. 日本側の協力	13
5.1 協力の目的と必要性	13
5.2 経費分担	13
5.3 その他	13
6. 実施上の注意事項	14
附属資料	15

1. 事前調査団の派遣

1.1 調査団派遣の経緯と目的

フィリピン政府の保健・医療分野に対する財政支出の不足は国民の平均余命や幼児の出生率など保健・医療関連指数を低下させる原因となっているが、同政府はこのような状況を改善すべく、限られた予算内で国民の保健衛生、福祉の向上を目指し地域保健活動の改善、疾病の撲滅、医療施設の拡充、衛生環境の整備等に取り組んできている。特にフィリピン国民の栄養事情の向上、プライマリーヘルスケア施設を通じた医療サービスの実施、家族環境改善については、国民の健康を維持し生産性を高めるために必須のテーマであり、これらは社会経済開発への貢献度を高めるための一つの大きなファクターとなっている。そしてその成果を平等に分ち合うことは国民の生活改善／向上に直接結びつくとの認識に立ち、上記の課題を緊急に実施すべく重点項目として掲げている。当事業団はこの様なフィリピンの保健医療事情を十分に把握した上で、現在家族計画・母子保健プロジェクトをプロ枝ベースで実施中であるが、今般フィリピン政府は研修事業の側面からの保健医療活動の改善、特に性的配慮が必要な母子保健等を含む家庭福祉について我が国から積極的な協力を仰ぎ、事態の改善を図りたいとして、第二国研修実施にかかる要請書が提出された。本件要請は、地方の保健所職員等を対象に家庭福祉の改善・向上を図るものであり、草の根レベルでの生活改善を持続的に実施しようとするものである。この様な背景を具体的に把握し、第二国研修をフィリピンにおいて実施するためにフィリピン側の実施体制、研修ニーズの確認把握、実施時期、カリキュラム、経費の分担等について協議を行い、R/D案をとりまとめたミニッツに署名することを目的に本件調査団を派遣した。

1.2 調査団の構成

担 当	氏 名	所 属
団長／総括	樋 田 俊 雄	国際協力事業団 研修事業部 研修第一課 課長
計画／運営	坂 口 勇 仁	国際協力事業団 研修事業部 研修第一課

1.3 調査日程

日順	日付	曜日	行程	業務
1	6月15日	水	東京→マニラ	マニラ着 (JL741) JICA事務所打合せ NEDA (国家経済開発庁) 表敬
2	16日	木	マニラ	POPCOM (人口委員会) 打合せ 大使館表敬
3	17日	金	マニラ	POPCOM打合せ
4	18日	土	マニラ	資料整理、畑地灌漑専門家との打合せ
5	19日	日	マニラ	資料整理
6	20日	月	マニラ	UNFPA表敬 CFAサイト視察 大使館打合せ
7	21日	火	マニラ	NGO (WHF) 視察 DAPサイト視察
8	22日	水	マニラ	ミニッツ最終案作成
9	23日	木	マニラ	NEDA打合せ ミニッツ最終協議 ミニッツ署名
10	24日	金	マニラ→東京	大使館報告、JICA事務所報告 帰国 (JL742-19:40着)

※ UNFPA : United Nations Population Fund

CFA : Communication Foundation for Asia

WHF : Women's Health Care Foundation

DAP : Development Academy of the Philippines

1.4 主要面談者

(1) UNFPA (United Nations Population Fund)

Mr. George Walmsley Country Director

(2) NEDA (National Economic & Development Authority)

Ms. Carmencita J. Guiyab Executive

Ms. Aurora T. Collantes Desk Officer

(3) POPCOM (Commission on Population)

Ms. Cecile Joaquin-Yasay	Executive Director
Mr. Oscar B. Escobar	Deputy Executive
Mr. Alfredo B. Fuentesfina, Jr.	Financial Management Officer
Ms. Grace P. Dino	Planning Officer
Ms. Maripaz C. Cartera	Planning Officer
Ms. Concepcion A. Natividad	Planning Officer

(4) NGOs

Dr. Florence M. Tadiar	Executive Director, Women's Health Care Foundation
Ms. Jenny R. Llaguno	Commissioner, National Commission on the Role of Filipino Women
Ms. Rowena V. Uematsu	HRS Staff, Human Research Specialist Foundation

(5) Japanese Embassy

Mr. Norihiko Yoda	Second Secretary
-------------------	------------------

(6) FP/MCH Project

Mr. Kenji Ikari	Project Coordinator
Mr. Akio Taguchi	IEC Expert

(7) JICA Philippines office

Mr. Akihiko Hashimoto	Resident Representative
Mr. Satoshi Machida	Deputy Representative
Mr. Nobuyuki Kobayashi	Assistant Resident Representative
Ms. Emiko Ibaraki	Assistant Resident Representative

1.5 協議の経過

総 括

今回の事前調査団は、第二国研修実施にかかるフィリピン側の実施体制、実施時期、日程、経費、カリキュラム等について協議を行い、わが方とフィリピン側双方合意の上、R/D (案) を添付したミニッツに署名したものである。なお、協議の詳細については次の通り。

NEDA (国家経済開発庁) 打ち合わせ

現在実施中のプロジェクト方式技術協力“家族計画・母子保健プロジェクト”と今般実施を予定している第二国研修のそれぞれの位置付け、役割について説明し、また、本研修において

のNEDAの関与部分について協議を行った。

協議において、実施機関に、G. I. 及び要請書をNEDA宛て送付する旨をR/Dに記載することで合意した。

POPCOM (人口委員会)

POPCOMは本件第二国研修のカウンターパート機関として本件の実施に対し責任を負う組織であるが、同委員会は人口と開発、言い換えれば家族計画・母子保健等、人口問題にかかわる性的配慮 (Gender Sensitivity) が必要な分野のIEC、調整等の実施機関であり、本件第二国研修の実施に対しては極めて積極的な姿勢であった。特に、本件は第二国研修の実施対象である人口、医療、WIDといった分野をテーマとし、取り組むこととなるが、同委員会は保健省と協力しつつ、これらのテーマを地域住民の生活改善・向上に必須であると位置づけており、また、組織能力も高いと思われるところ、実施機関としての的確であると思料される。

実施体制協議及びR/D (案) の作成

上記フィリピン側関係各機関との協議をベースに実務レベルの協議にうつり、Ms. Joaquin-Yasay をはじめとする責任者と話し合いを行った結果、R/D (案) を別添のとおりとりまとめた。この中で第二国研修のタイトル、目的、到達目標、研修実施時期及び期間、カリキュラム、経費等について協議を行った。

R/D (案) は調査団帰国後、外務省の承認を得た後、7月下旬をめどにJICAフィリピン事務所長とPOPCOMのMs. Joaquin-Yasay との間で署名を行うこととし、本調査団は団長と同氏との間でR/D (案) を添付したミニッツに署名を行った。

2. 要 請 の 背 景

2.1 フィリピンにおける当該分野の現状

フィリピンの本件要請にいたる経緯は以下の通り

フィリピンの人口は約6300万人（1991年現在）であり、人口増加率は約2.3%とされている。従って、毎年の人口増加は約150万人であり、2010年代後半には現在の人口の約2倍になると推定される。フィリピン政府は人口問題に関連の深い家族計画・母子保健等の事業について保健省とPOPCOM（Population Commission：人口委員会）とのデマケーションを1989年に行った。即ち、家族計画・母子保健にかかるサービスについては保健省が実施することとし、それらの事業にかかる計画・調整についてはPOPCOMが責任を負うこととした。しかしながら、どちらの組織が担当するにせよ、計画・調整と実施はうらはらの関係にあり、当然のことながら、どちらの分野も車の車輪のごとく回転しなければその効果は上がらないとしている。また、フィリピン政府は性的配慮が必要とされる家族計画・母子保健等の分野について女性に対する教育や情報不足から母子の健康が確保されていないとの認識に立ち、POPCOM及び保健省のそれぞれの役割の重要性を確認している。フィリピン政府はこの状況を脱却するため、地域保健指導員の組織化、再教育を通じ、家族計画・母子保健の改善並びに健康な母体を維持するための諸知識を広く家庭レベルに浸透させ、家庭福祉を充実させることは極めて緊急かつ重要なテーマのひとつであると、POPCOMを実施機関とする第二国研修の実施を我が国に要請したものである。家族計画・母子保健等を通じ家庭の福祉の向上、生活改善を図るためには、性的配慮を十分理解した上ではじめて可能となるものであり、これらの計画・調整を担うPOPCOMの活動は保健省の家族計画のサービス活動と密接に関連しながら展開されていくことが期待されている。従って本件第二国研修においては家族計画・母子保健及び、生活改善にかかる教育、啓蒙活動等の具体的計画策定の方法に視点を置いた研修の実施が重要となろう。よってPOPCOMを実施機関とし、地域の保健指導員を上記の視点から教育し、保健省及び現場の状況を熟知したNGOからの協力を得ながら効果的な研修を実施したいとするフィリピン側の考えは妥当であると思料される。

2.2 フィリピンにおける研修ニーズ

要請の背景からも察せられる様に、家庭の福祉を改善することは生産性の向上にも寄与し、延てはフィリピンの社会経済発展の礎になるものであり、同国にとっては地味であるが重要なテーマである。現在フィリピンの国民の約40%が貧困ライン以下であることを考えると、この層を啓蒙する指導者の再教育、組織化は必須であり、第二国研修を投入することの意義は大きいと思料される。

3. 要 請 の 内 容

3.1 コース名

日本名 “家庭福祉における開発と女性”

英語名 “Women in Development towards Family Welfare”

コース名は先方との協議を通じて “In-Country Training Course for Women in Development towards Family Welfare” とした。

本コースにおいては地域に密着する保健指導員を対象として実施するものであり、本コース終了後の研修員たちの活躍はまさに “女性と開発の問題” に深く関わるものになるろう。

3.2 目 的

本研修コースは、地域に密着した保健指導員または地域保健所職員を対象に、母子衛生、家族計画、生活改善のための啓蒙活動の方法など、家庭をとりまく諸事項について研修する機会を与え、その習得した知識・技能を地域へフィードバックし、地域住民の家庭福祉を改善することを目的とする。

3.3 到達目標

本研修コース終了時において研修員は以下の到達目標を達成することが期待される。

- (1) フィリピン政府の家庭福祉の改善・向上にかかる基本的ポリシーについて理解する
- (2) 家庭福祉の改善・向上のための性的配慮 (Gender Sensitivity) の重要性について理解する
- (3) 家庭福祉において性的配慮が必要な分野、例えば家族計画・母子保健分野における効果的な実施のための計画策定、及び啓蒙活動の方法について理解する
- (4) フィールドトリップを通じ、上記各項の現状を把握する

3.4 時期及び期間

(1) 時期：平成7年1月下旬

(2) 期間：3週間

本研修に参加を予定している研修員は全員、現場の第一人者として活動している者であり、レベルも相当高いため、当初計画していたカリキュラムの基本的部分については必要ないため、期間を4週間から3週間とした。

3.5 カリキュラム

フィリピン国内の研修ニーズに対応して、カリキュラム作成にあたって次の点について考慮し

た。

- (1) 研修員は主として地域レベルの家庭福祉を担当する職員であること
- (2) 研修の形式は講義、ディスカッションを中心とするが、実際にフィリピン国内において進行中のプロジェクトの活動状況の見学をフィールドトリップの形で行うことが有効であること
その結果、国連、NGO等の実際のプロジェクトサイトの活動状況の見学を盛り込み、基礎知識の習得より実践的な活動に重点をおいたカリキュラム案が下記の通り作成された。

A. 基礎知識と理解

1. 性差 (Gender) と開発

- －性差と開発の重要性
- －主要概念
- －性的配慮 (Gender Sensitivity) について (個人レベル)

2. フィリピン社会での女性の状況

- －フィリピン女性の立場
- －実例と指標
- －ニーズ

3. フィリピンでの“開発と女性”プログラム

- －家庭福祉における女性の役割
- －女性の積極性を促すための法及び政策
- －女性と開発、性別と開発

4. 女性の健康と“性と生殖に関する権利 (Reproductive Rights)”

- －構造
- －要素
- －ニーズ
- －家庭福祉プログラムとしての“人口家族計画／母子保健プロジェクト”

B. 実践的方法

1. 性別分析 (Gender Analysis)

- －基礎理論
- －構造分析
- －分析手法
- －人口／健康プログラムでの性別分析
- －地方での人口／健康プログラムにおける問題提起

2. 見学旅行

- －プロジェクトサイト訪問

－様々なWIDプロジェクトの評価

3. アクション・プラン作成

－オリエンテーション

－地方での人口／健康プログラム開発の戦略的計画

－アウトプットのプレゼンテーション／評価

3.6 対象地域

フィリピン国内51州

3.7 定 員

40名(各州1名まで)

3.8 資格要件

研修コースの応募者は以下の資格要件を満たしていなければならない。

- (1) 応募者は所属地方行政の推薦を得た者であること
- (2) 50才以下の者であること
- (3) 大学卒業、または同等の学歴を有する者であること
- (4) 家庭福祉に関わる業務分野において、3年以上の実務経験のある者
- (5) 心身ともに健康である者

4. 第二国研修実施体制

4.1 実施機関の組織及び事業概要

(1) 実施機関の組織

次頁図1参照

(2) 事業概要

POPCOM (The Commission on Population : 人口委員会) は、フィリピン国における人口計画の計画立案、調整、監視の主体となり、同国の人口・福祉問題の改善に資することを目的に1969年に設立されたものであり、現在、国家経済開発庁の管轄下で、人口問題を社会的アプローチから関係各省庁に提言を行う、各省の政策調整機関として活動している。

4.2 実施機関の関連組織及びその支援体制

今回の第二国研修は、POPCOMが主体となり、タガイタイ市に位置するフィリピン・ディベロップメント・アカデミー会議場で実施される。協力機関として、下記NGOが挙げられる。

- University of the Philippines Population Institute (UPPI)
- Demographic Research Development Foundation (DRDF)
- Human Resource Specialist Foundation (HRSF)
- Women's Health Care Foundation
- Health Action Information Network
- Harnessing Awareness Incentives (HASIK)
- National Commission on the Role of Filipino Women (NCRFW)

4.3 実施機関の研修指導能力

研修の主体となるPOPCOMは、わが国よりの協力（人口家族計画・母子保健）により、豊富な経験を持つ人材を有する。また、本研修においては、関連NGO団体より広く経験・実績のある講師陣を迎える予定であり、研修実施につき万全の体制をしいている。

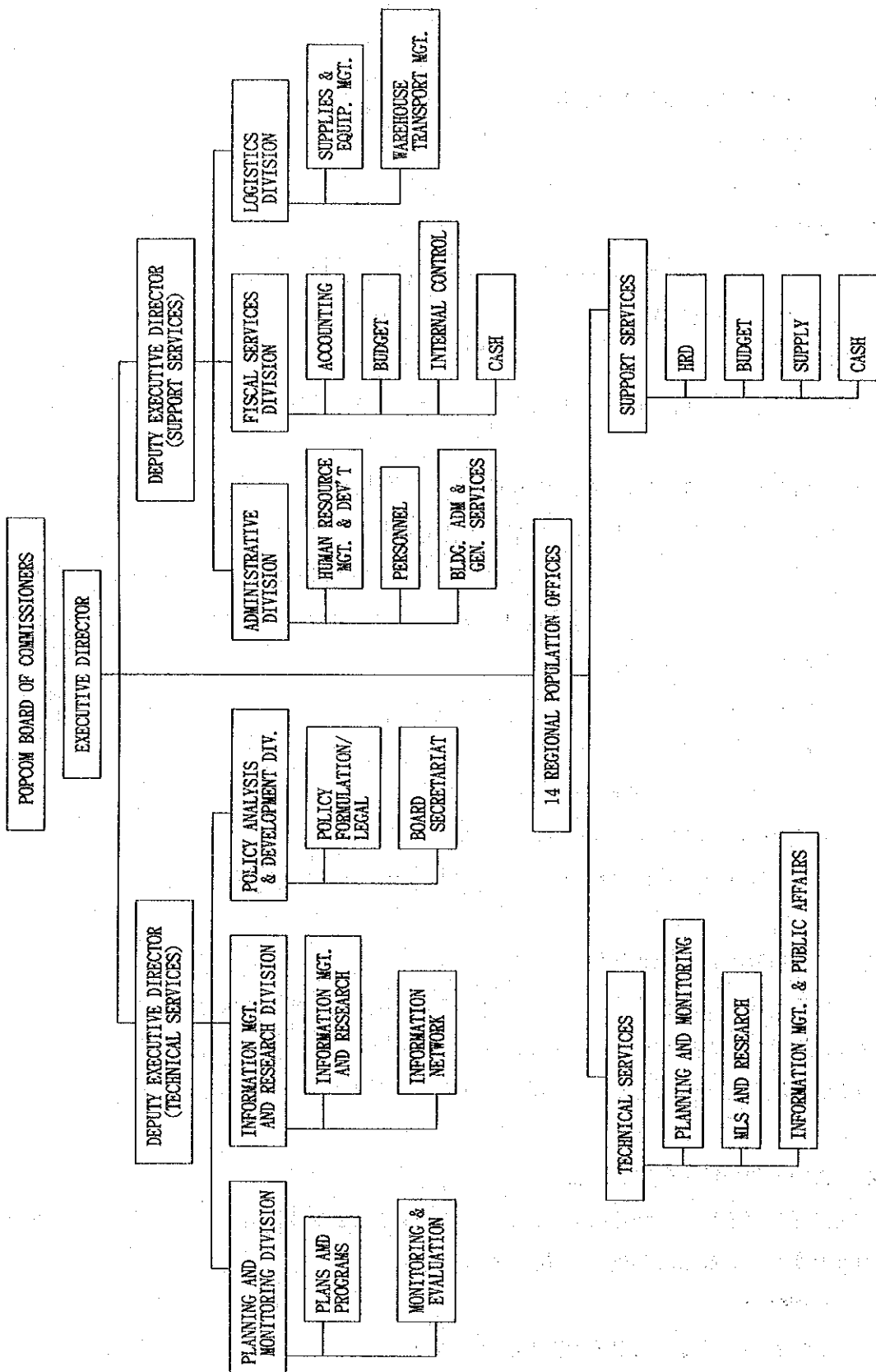
4.4 実施機関の研修運営管理能力

研修運営管理能力を測る基準としては、研修実施にかかる支援体制の整備状況、即ち管理組織の習熟度及び財政状況が重要な判断基準となる。

(1) 管理組織

POPCOMは、実務を担当するテクニカル・サービス部門と、管理を担当するサポート・サービス部門、さらに下部組織の14の地域事務所からなる（組織図は4.1項 図1参照）。

COMMISSION ON POPULATION
ORGANIZATIONAL/FUNCTIONAL CHART



サポート・サービス部門の業務分掌は下記の通り。

- ア. 管理部：人事管理／人材開発、総務
- イ. 財務部：予算／会計管理
- ウ. 補給部：設備補給、倉庫／運輸管理

(2) 運営に関する習熟度

POPCOMは、家庭福祉、母子保健、性的配慮の分野で豊富な研修実績を有する。POPCOMにおける近年の研修実績を表2に示す。

表2

TITLE	Qualification Requested	1991	1992	1993	1994
1. Project Devt./Eval. Trg.	College Grad.			17	
2. POPDEV ICS Training	-do-	367		124	
3. POPDEV Training	-do-	465		69	
4. Women in Development Training	-do-	153		165	
5. Adolescent Fertility/ Management Training	H. S. Students/ Coll. Grad.			157	
6. Gender Awareness/ Sensitivity Training	College Grad.	43		25	
7. Data Management, Analysis and Utilization Training	College Grad.			39	
8. Development Communication Training	H. S. Students/ Coll. Grad.	48			
9. Training on Cataloguing and Classification	College Grad.	19			
10. Seminar in Policy Analysis for Sr. Decision Makers	Sr. Mgt. Staff		17		
11. RAPID Model Presentors' Training	-do-		30		
12. Training on Problem Solving, Decision Making and Potential Problem Analysis	College Grad.		16		

(3) 財政状況

以下にPOPCOMの近年の予算実績状況を示す(表3)。

表3 POPCOM財政状況(単位:千ペソ)

1. Particulars	1990	1991	1992	1993	1994
2. Annual Budget of the Orgn.	59,883	52,260	61,087	56,812	58,871
3. Annual Budget of the Div. in-charge	2,076	2,188	4,990	5,300	3,917
4. Budget for training	112	112	112	112	112

4.5 実施機関の施設、建物、機材等

本第二国研修においては、POPCOMが実施機関となるが、40名の研修に対応する本格的な研修施設を有しておらぬため、外部の研修施設2か所を比較検討した結果、実施場所はフィリピン・ディベロップメント・アカデミー会議場とした。以下にその設備を示す。

(1) 研修設備

ア. 教室: 大会議場、中会議場、小会議場、教室6室

イ. 備品: スライド、OHP、TV、ビデオ、音響設備、白板等

(2) 宿泊施設: 2人部屋(講師用)、4人部屋、コテージ等

(3) その他施設: 事務局、食堂、テニスコート、ビリヤードルーム等

4.6 第二国研修の実行予算

概算経費総額はフィリピン側との協議を通じ、2,235,469ペソとし、うち、日本側負担1,761,200ペソ(79%)、フィリピン側負担474,269ペソ(21%)とした。(付属資料R/D Annex-III 参照)

5. 日本側の協力

5.1 協力の目的と必要性

第二国研修は過去の技術協力を通じて育成した途上国の人材を活用し、かかる人材を多数擁する組織を実施機関として、現場により近いポジションにある当該途上国の行政官や技術者を対象に研修を実施するもので、途上国の自助努力を促し、我が国が移転した技術・知識の途上国内へのより広範な普及・定着を目的とするものである。

わが国はフィリピンに対し1992年以来、プロジェクト方式技術協力“家族計画・母子保健”により、家庭福祉分野での協力を行ってきた。しかしながら、当協力事業は、モデル地域を限定しており（タラック州）、それ以外の周辺地域への技術移転が一層望まれているところである。フィリピンにおける人口問題改善にあたっては、婦女子の教育・意識啓発は不可欠であり、今後全国的な啓蒙活動を行っていくためには、各地域での指導者の育成が必要となる。

かかる状況を背景として、今回の第二国研修により、これまで実施してきた技術協力の成果を活用しながら、家庭福祉、特に近年その必要性が求められている“性的配慮”の分野での知識・技術を全国に広め、フィリピン国内各地域での女性の意識啓発を促し、家庭福祉の向上、人口問題の改善に資することを目的とするものである。

5.2 経費分担

経費に関しては、第二国研修の趣旨である自助努力支援の観点から、研修経費、会議費等の一部をフィリピン側負担とした（今回R/D上で定めた日本側、フィリピン側負担区分は別添ミニッツAnnex-Ⅲの通り）

5.3 その他

今回の研修においては、POPCOMに対し、技術移転が十分に行われていること、また、フィリピン国内のNGOは極めて活発であり、優秀な人材を有しているとの判断から、専門家派遣は行わないものとする。

6. 実施上の注意事項

フィリピン国においては、第二国研修は初めての試みであるため、今年度一回限りの研修を行い、今後継続するか否かは、終了時評価をもって判断する。

第一回の研修ということで、日本側の負担比率が79%と高くなっているが、評価を行う際には、極力研修にかかる経費を削減し、自助努力支援の観点から、フィリピン側の負担比率を高めることができる様、厳正に審査したい。

付 属 資 料

1. ミ ニ ッ ツ

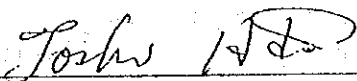
2. R / D

MINUTES OF MEETING
BETWEEN
THE JAPANESE PRELIMINARY SURVEY TEAM
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE
REPUBLIC OF THE PHILIPPINES
ON THE IN-COUNTRY TRAINING PROGRAMME

1. The Japanese Preliminary Survey Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Toshio Hida, visited the Republic of the Philippines from June 15, 1994 to June 24, 1994 in order to discuss with the authorities concerned of the Philippines, a training course for Philippine participants in the field of women in development towards family welfare, to be implemented in the Philippines under JICA's In-Country Training Programme.
2. The Team has conducted surveys, held a series of meetings and exchanged opinions with the authorities concerned of the Philippines regarding the course.
3. Both sides came to share the view that the course will contribute to the development of women in development towards family welfare in the Philippines.
4. Both sides drafted the Record of Discussion attached as APPENDIX I, and agreed to recommend to their respective Governments that further studies should be made for elaborating it in order to ensure the successful implementation of the course.

A list of attendants at the meeting is attached as Appendix II.

Metro Manila, June 23, 1994



T O S H I O H I D A
HEAD OF THE JAPANESE
PRELIMINARY SURVEY TEAM,
JAPAN INTERNATIONAL
COOPERATION AGENCY (JICA)



CECILE JOAQUIN - YASAY
EXECUTIVE DIRECTOR III
COMMISSION ON POPULATION

(DRAFT)
THE RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN
THE RESIDENT REPRESENTATIVE OF JICA PHILIPPINES OFFICE
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES
ON THE IN-COUNTRY TRAINING PROGRAMME

The Japanese Preliminary Survey Team, organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Toshio Hida, visited the Republic of the Philippines from June 15, 1994 to June 24, 1994 and had a series of discussions with the authorities concerned of the Government of the Philippines with respect to the framework of a training course in the field of women in development towards family welfare under JICA's In-Country Training Programme, and to the desirable measures to be taken by both Governments to ensure the successful implementation of the course.

Based on the above discussions, the Resident Representative of JICA's Philippines Office and the authorities concerned of the Government of the Philippines agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the documents attached hereto.

Metro Manila , 1994

AKIHIKO HASHIMOTO
Resident Representative
JICA Philippines Office

CECILE JOAQUIN-YASAY
Executive Director
Commission on Population

ATTACHED DOCUMENT

The Government of Japan and the Government of the Republic of the Philippines will cooperate with each other in organizing a training course in the field of women in development towards family welfare (hereinafter referred to as "the Course") under JICA's In-Country Training Programme.

The Government of the Republic of the Philippines will conduct the Course with the support of the technical cooperation scheme of the Government of Japan. The Course will be held during Japanese fiscal year (JFY) 1994/1995. The Course will be conducted in accordance with the following;

1. TITLE

The Course will be entitled "Women in Development towards Family Welfare".

2. PURPOSE

The purpose of the Course is to provide the participants from various regions in the Philippines with an opportunity to update and upgrade their knowledge and techniques in the field of family welfare activity.

3. OBJECTIVES

At the end of the Course, the participants are expected to have ;

3-1 understood the reorientation of family welfare policy in the Philippines.

3-2 enhanced their capability to apply the knowledge into practical works.

3-3 refreshed and improved their knowledge through discussion among participants.

4. DURATION

The duration of the Course will be approximately three (3) weeks and the Course for JFY 1994 (hereinafter referred to as "the Course") will be held from January 29 to February 19, 1995.

5. CURRICULUM

Tentative curriculum of the Course is attached as Annex I.

6. INVITED INSTITUTIONS

Provincial Governments will be invited to apply for the Course by nominating their applicant(s).

7. NUMBER OF PARTICIPANTS

The number of participants from the invited Provincial Governments shall not exceed forty (40) in total.

8. QUALIFICATIONS FOR APPLICANTS

Applicants for the Course are;

8-1 to be nominated by their Provincial Governments in accordance with the procedure stipulated in 10-1 below,

8-2 to be under fifty (50) years of age,

8-3 to be college graduates, or to have equivalent ability,

8-4 to have practical experience of more than 3 years in the field of family welfare and,

8-5 to be in good health, both physically and mentally, in order to complete the Course.

9. FACILITIES AND INSTITUTIONS

The Course will be conducted by Commission on Population, at Conference Center of Development Academy of the Philippines (DPA), Tagaytay, the Republic of the Philippines.

10. APPLICATION PROCEDURE

10-1 Provincial Governments applying for the Course on behalf of its nominee(s) shall forward five (5) copies of the prescribed application form for each nominee to Commission on Population not later than sixty (60) days before the commencement of the Course.

10-2 Commission on Population will inform the applying Provincial Governments whether or not the applicant(s) is/are accepted to the Course not later than thirty (30) days before the commencement of the Course.

11. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN AND THE GOVERNMENT OF THE PHILIPPINES

In organizing and implementing the Course, both Governments will take the following measures in accordance with the relevant laws and regulations in force in each country.

The schedule of the Course implementation is attached as Annex II.

11-1 Government of the Philippines

(through Commission on Population)

- (1) To formulate the curriculum of the Course
- (2) To draft and print the General Information (G.I.)
- (3) To forward G.I. to the invited Provincial Governments and National Economic & Development Authority (hereinafter referred to as "NEDA")
- (4) To receive application forms and forward one copy to NEDA
- (5) To select participants for the Course and notify the JICA Philippines Office (hereinafter referred to as "the JICA Office")
- (6) To notify the results of the selection of participants to the respective Provincial Governments and NEDA
- (7) To assign an adequate number of its staff as lecturers / instructors and invite external lecturers / instructors for the Course
- (8) To arrange training facilities and equipment for the Course
- (9) To arrange accommodation for participants
- (10) To arrange tickets for the participants from invited Provincial Governments
- (11) To arrange domestic study tour(s) as a part of the Course
- (12) To take budgetary measures to bear the expense necessary for the Course, excluding the expenses financed by the Government of Japan
- (13) To issue certificates to the participants who have successfully completed the Course
- (14) To submit a course report to the JICA Office within thirty (30) days after the termination of the Course

- (15) To submit a statement of expenditure with the receipts and other documentary evidence necessary to verify the expenditure stated above within thirty (30) days after the termination of the Course
- (16) To coordinate any matters related to the Course

11-2 The Government of Japan

To bear the following expenses through JICA (A tentative estimate of expenses for the Course is attached as ANNEX III)

- a) Expenses relevant to participants from invited Provincial Governments such as ticket for travel, accommodation, per-diem and medical insurance premiums
- b) Expenses relevant to implementation such as study tour(s), textbooks, teaching aids, expendable supplies, copies, honoraria for external lecturer(s) and opening & closing ceremonies

12. PROCEDURE FOR REMITTANCE AND EXPENDITURE

Remittance and expenditure of the funds for expenses to be borne by the Government of Japan through JICA will be arranged in accordance with the following procedures:

- 12-1 Commission on Population will open a separate bank account in the Philippines to receive the funds remitted by JICA, and inform the JICA Office of the name of the bank, the account code number and the name of the account holder.
- 12-2 Commission on Population will submit to the JICA Office a bill of estimate for the expenses to be borne by the Government of Japan not later than sixty(60) days before the commencement of the Course.
- 12-3 JICA will assess the bill of estimate and remit the assessed amount of expenses to the account mentioned in 12-1 above within thirty (30) days after the receipt of the bill of estimate.
- 12-4 Commission on Population will submit to the JICA Office a statement of expenditure within thirty (30) days after the termination of the Course.

12-5 In case there is any unspent remainder of the amount remitted by JICA, Commission on Population will reimburse the unspent amount to JICA in accordance with the advice given by JICA. The funds allocated for the Course shall not be appropriated for any other purposes.

12-6 When requested by JICA, Commission on Population will make available for JICA's reference all the receipts and other documentary evidence necessary to verify the expenditures stated in 12-4 above.

13. OTHERS

This attached document and the following Annexes attached hereto shall be deemed to be part of the Record of Discussions:

ANNEX I : Tentative Curriculum of the Course (for JFY 1994)

ANNEX II : Schedule of Course Implementation (for JFY 1994)

ANNEX III : Tentative Estimate of Expenses to be borne by the Government of Japan (for JFY 1994)

TENTATIVE CURRICULUM OF THE COURSE
FOR JAPANESE FY 1994

ANNEX- I

TOPIC	METHODOLOGY
A. BASIC KNOWLEDGE AND UNDERSTANDING	
1. Gender and Development: An Introduction -Importance of Gender and Development -Key Concepts and issues -Gender Sensitivity: Personal Level	Lecture-Discussion Lecture-Discussion Lecture-Discussion, Role Playing Film showing and Workshop
2. Women Situation in the Philippine Society -Status of Philippino Women -Facts and Figures -Issues/concerns/needs	Lecture-Discussion, Film showing Lecture Workshops/Group Exercises
3. Women in Development Programs in the Philippines -The Role of Philippino Women in Family Welfare and Nation Building -Laws and Policies for Mainstreaming Women and Gender in Development Process -Women in Development, Women and Development and Gender and Development: Policy Approaches	Lecture-Discussion, Workshop Lecture-Discussion Lecture-Discussion
4. Women's Health and Reproductive Rights -Framework -Elements -Issues/concerns/needs -FP/MCH as a Family Welfare Program	Lecture-Discussion Lecture-Discussion Workshop, Group Exercises Lecture-Discussion
B. TOOLS/PRACTICAL SKILLS/APPLICATIONS	
5. Gender Analysis and Gender Planning -Overview: Basic Theories and Methodologies in Gender Responsive Planning -Analytical Framework for Gender Analysis of Programs -Gender and Development Analytical Tools: Program/Project and Policy Application -Gender Analysis of Population and Health Programs -Mainstreaming and Integration of Gender in Local Population and Health Programs/Projects	Lecture-Discussion Workshop Lecture-Discussion, Group Exercises Workshop, Case Study, Simulation Lecture-Discussion,
6. Observation Study Tour -Field Visit to Project Sites -Critiquing/evaluation of different WID projects	Study Tour Group Report Presentations; sharing of experiences and Critiquing
7. Action Planning -Orientation to Action Planning -Strategic Planning for Engineering Provincial Population and Health Programs -Presentation and Critiquing of Outputs	Lecturette Workshop Group Presentation, Critiquing

SCHEDULE OF COURSE IMPLEMENTATION FOR JAPANESE FY 1994

MONTH	PHILIPPINES SIDE	JAPANESE SIDE
JULY TO AUGUST 1994	<ol style="list-style-type: none"> 1. Signing of Record of Discussions 2. Preparation of G.I. 3. Distribution of G.I. and Application Forms 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Signing of Record of Discussions
SEPTEMBER 1994	<ol style="list-style-type: none"> 1. Opening of Bank Account 2. Submission of Bill of Estimates 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Remittance of Funds
OCTOBER 1994	<ol style="list-style-type: none"> 1. Receipt of Application Form 2. Selection and Notification of the Participants 	
JANUARY TO FEBRUARY 1994	<ol style="list-style-type: none"> 1. Implementation of the Course 	
MARCH 1995	<ol style="list-style-type: none"> 1. Submission of Statement of Expenditures 2. Submission of Course Report 	

TENTATIVE ESTIMATE OF EXPENSES

ANNEX- III

ITEM OF EXPENSES	BREAKDOWN	GOJ (Peso)	GOP (Peso)
I. INVITATION EXPENSES		1,192,000	0
1. Air fares (round trip)	@ P3,000 x 40 pers.	120,000	0
2. Per-diem	@ P600 x 22 days x 40 pers.	528,000	0
3. Accommodation			
3.1 Training Site	@ P400 x 21 nights x 40 pers.	336,000	0
3.2 Field Trip	@ P400 x 3 nights x 40 pers.	48,000	0
4. Medical insurance	@ P4,000 x 40 pers.	160,000	0
II. TRAINING EXPENSES		500,200	269,800
1. Honoraria			
1.1 Lecturers (external)	@ P1,000 x 8 hrs. x 10 pers.	80,000	0
(internal)	@ P1,000 x 8 hrs. x 3 pers.	0	24,000
1.2 Facilitators	@ P1,000 x 50 hrs. x 2 pers.	100,000	0
2. Accommodation			
2.1 Lecturers	@ P400 x 12 nights x 2 pers.	9,600	0
2.2 Facilitators	@ P400 x 12 nights x 2 pers.	9,600	0
3. Travel Allowance (Lecturers)	@ P500 x 12 days x 4 pers.	24,000	0
4. Secretariat Fee			
4.1 Salaries	@ P700 x 30 days x 3 pers.	0	63,000
4.2 Meals	@ P600 x 21 days x 3 pers.	0	37,800
4.3 Accommodation	@ P400 x 21 days x 3 pers.	25,200	0
5. Field Trip			
5.1 Bus Rental	@ P5,000 x 4 days x 5 cars.	100,000	0
5.2 Accommodation			
-Lecturers	@ P400 x 3 nights x 5 pers.	6,000	0
-Facilitators	@ P400 x 3 nights x 2 pers.	2,400	0
-Supporting Staff	@ P400 x 3 nights x 5 pers.	6,000	0
6. Training Materials			
6.1 Slides/Tapes	@ P1,000 x 2 sets	2,000	0
6.2 Books	@ P700 x 40 pers.	28,000	0
6.3 Others	@ P500 x 40 pers.	20,000	0
7. Supplies and Materials (Training Kits)	@ P750 x 40 pers.	30,000	10,000
8. Communication Expenses (Mailing/Telegrams)	@ P500 x 40 pers.	20,000	10,000
9. Training Equipment			
9.1 Pin Microphones		4,000	0
9.2 Audio Equipment		10,000	50,000
10. Special Activities			
10.1 Opening Ceremony	Opening ceremony @ ___ x ___ pers.	15,000	25,000
10.2 Closing Ceremony	Closing ceremony @ ___ x ___ pers.	0	50,000
11. Conference Room	@ P700 x 12 days	8,400	0

TENTATIVE ESTIMATE OF EXPENSES

ANNEX- III

ITEM OF EXPENSES	BREAKDOWN	GOJ (Peso)	GOP (Peso)
III. PREPARATORY ACTIVITIES		39,000	36,000
1. Meeting Expense		0	36,000
2. Curriculum Development	@ P1,000 x 5 pers. x 3 meetings	15,000	0
3. Materials Development	@ P2,000 x 12 lecturers/workshops	24,000	0
IV. OTHER EXPENSES		30,000	168,469
1. Office Space & Utility		0	90,000
2. Printing Cost		30,000	0
3. Salaries of 5 Project Management Staff for 9 months (10%)		0	44,469
4. Media Promotions		0	20,000
5. Gas & Oil for POPCOM vehicle		0	14,000
GRAND TOTAL		1,761,200	474,269

LIST OF ATTENDANTS AT THE MEETING
BETWEEN
THE JAPANESE PRELIMINARY SURVEY TEAM AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES

THE JAPANESE PRELIMINARY SURVEY TEAM

- | | |
|-----------------------|---|
| 1. Mr. Toshio HIDA | Leader of the Japanese Preliminary Survey Team/Director, First Training Division, Training Affairs Department, JICA |
| 2. Mr. Yuji Sakaguchi | Staff, First Training Division, Training Affairs Department, JICA |

(JICA PHILIPPINES OFFICE)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 3. Mr. Nobuyuki Kobayashi | JICA Philippines Office |
| 4. Ms. Emiko Ibaraki | JICA Philippines Office |

(FP/MCH Project)

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 5. Mr. Kenji Ikari | FP/MCH Project |
| 6. Ms. Cecilia Ruiz-Marave | FP/MCH Project |

THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 7. Ms. Cecile Joaquin-Yasay | Executive Director, POPCOM |
| 8. Mr. Oscar B. Escobar | Deputy Executive Director, POPCOM |
| 9. Ms. Grace P. Dino | Planning Officer, POPCOM |
| 10. Mr. Alfredo B. Fuentesfina, Jr. | Financial Management Officer, POPCOM |
| 11. Mr. Erfren B. Vigo | Information Officer, POPCOM |
| 12. Mr. Pete V. Lorenzo, Jr. | OIC-PADD, POPCOM |
| 13. Ms. Maripaz C. Cartera | Planning Officer, POPCOM |
| 14. Ms. Concepcion A. Natividad | Planning Officer, POPCOM |
| 15. Dr. Florence M. Tadiar | Executive Director, Women's Health Care Foundation |
| 16. Ms. Jenny R. Llaguno | Commissioner, National Commission on the Role of Filipino Women |
| 17. Ms. Rowena V. Uematsu | HRS Staff, Human Research Specialist Foundation |

JICA